

冬のねむりから覚めたクマに注意！



春になると、クマは、冬のねむりから覚めて、
 山の中を食べ物を探して動きまわります。
 福井県の山の中には、クマが住んでいます。
 山に入るときは、おとなといっしょに行きましょう。

◇ 近くの山にもクマは暮らして
 いますので、注意しましょう。

◇ クマが出てきそうな場所には、
 近づかないようにしましょう。

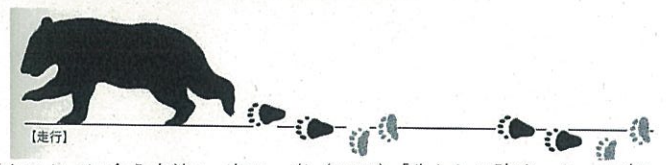
◇ 山の中では、クマよけ鈴など
 音のなるものをならしながら歩きましょう。

◇ 子グマを見たら、そっとはなれま
 しょう。近くにお母さんグマがいる
 かもしれません。

◇ 春から夏のクマの好きな食べもの
 は、フキやタケノコなどの山菜や
 はちみつなどです。山菜がはえて
 いるところや、ハチのすがあるところなどでは、気をつけましょう。



クマを見たり、クマの足あとやフンを見つけたら、
 すぐにおとなに知らせましょう。



【参考文献】 米田一彦 (1996) 「山でクマに会う方法」、米田一彦 (1998) 「生かして防ぐ クマの害」
 今泉忠明 (十平野めぐみ) (2004) 「野生動物観察事典」

冬眠明けのクマに注意！



春、クマは冬眠（冬ごもり）から覚め、食べ物を求めて活発に活動します。県内の山はクマの生息地ですから、どこの山林でもクマと出遭う可能性があります。

山に入る場合は、クマと出遭わないよう、次のことにご注意ください。

◇身近な里山でもクマは暮らしています。

行き馴れた身近な里山でも、クマとの遭遇に注意を払うことが必要です。

◇鈴、拍手、大声、ラジオなど大きな音を出して移動し、クマに自分の存在を知らせる。

クマは聴覚や嗅覚が人より優れているため、人の接近をいち早く察知し、人を避けます。

◇悪天候の日は特に注意。

雨や風の音、霧などにより、クマも人の気配に気づかず至近距離まで接近することがあります。



ツキノワグマの糞

(食べ物によって、また体調によって形や色が変わります。)

◇山菜採りはほどほどに。

山菜はクマも好物です。山菜の多いところにはクマもいることが多いので、足跡や糞などを見つけたら引き返しましょう。

◇入山地域のクマの出没状況を確認し、危険な場所には近づかない。

細心の注意をもって山に入りましょう。早朝や夕方は特に注意が必要です。日中はヤブや林などの薄暗い場所には近づかない。

◇子グマを見たらそっと立ち去る。

近くには必ず母グマがいます。子グマがかわいいからと近づいたりすると、母グマが突然現われて人を攻撃することがあります。



前足

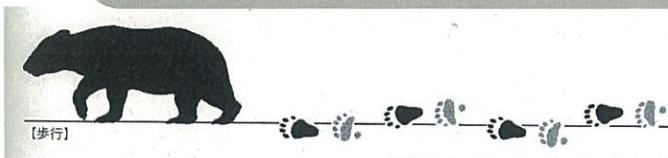
後ろ足

ツキノワグマの足跡

◆クマを目撃した場合やクマの痕跡を見つけた場合は、直ちに市町や最寄りの警察署に連絡してください。

◆クマに出遭った場合の対処方法などについて、福井県ホームページ

<http://www.pref.fukui.lg.jp/doc/shizen/index.html> で詳しくご紹介しています。



【参考文献】米田一彦（1996）「山でクマに会う方法」、米田一彦（1998）「生かして防ぐ クマの害」今泉忠明（+平野めぐみ）（2004）「野生動物観察事典」

冬眠明けのクマに注意！



春になると、クマは冬眠（冬ごもり）から覚め、活動を開始します。

県内の山はクマの生息地ですから、どこの山林でもクマに出遭う可能性があります。

山に入る場合には、クマと出遭わないよう次のことにご注意ください。

- ◇ 近くの里山にもクマは暮らしているので、クマとの遭遇に注意する。
- ◇ 鈴、拍手、大声、ラジオなど音を出して移動し、クマに自分の存在を知らせるようにする。
- ◇ 悪天候の日はクマが人の気配に気づきにくいので特に注意する。
- ◇ 山菜採りは十分注意する。クマも好物の山菜を食べにやってきます。
- ◇ 入山地域のクマの出没状況を確認し、危険な場所には近づかない。早朝や夕方は特に注意が必要です。
- ◇ 子グマを見たらそっと立ち去る。



クマを目撃した場合やクマの痕跡を見つけた場合は、直ちに市町や最寄りの警察署に連絡してください。



【参考文献】米田一彦（1996）「山でクマに会う方法」、米田一彦（1998）「生かして防ぐクマの害」今泉忠明（+平野めぐみ）（2004）「野生動物観察事典」